

1年「あさがおと なかよし」



5月に種まきをした朝顔が、順調に育っています。「葉っぱがぼくの手のひらより大きくなったよ」「つるが長くなって、私の膝の上まであるよ」と、朝顔の成長を自分の体と比べて実感する子。「本葉には、どうして細かい毛が生えているの」と不思議を見付ける子。一人一人が朝顔に心を寄せながら、世話を続けています。これから咲く朝顔のきれいな花のように、子供たちの夢も大きく開くことを願っています。



子供たちのスマホ利用について

情報主任 小金井 啓介

内閣府の調査(2016<平成 28>年 11~12月現在)によると、青少年のスマホ所有率は、小学生 27.0%、中学生 51.7%、高校生 94.8%、一方、従来型の携帯電話(ガラケー)の所有率は、各 28.2%、14.2%、3.2%ですから、携帯電話を所持している小学生の約半数、高校生ではほとんどがスマホに切り替わることになります。

先日のアンケートで本校のスマホ所有率は 22.0%でした。教室の子供たちの会話を聞いていても、日常生活にスマホがかなり浸透していることが伺えます。私も小中学生の子供をもつ一人の親として、スマホが及ぼす影響と「スマホ依存」を心配しています。

先日、米アップル社は「スマホ依存」への対策を発表しました。1週間の iPhone や iPad の利用時間をまとめて利用者に知らせる他、どんなアプリの利用度合いが高いかも分かるようにするとのこと。アプリごとに利用する時間を設定し、設定時間が迫ると利用者に知らせる機能も追加できます。今後、様々なメーカーが同様の対策を続けていくと思われませんが、メーカーに頼ってばかりもいられません。

高岡市内小学校のコンピュータ室のパソコンには、「事例で学ぶ NET モラル」というプログラムがインストールされています。そのプログラムを利用するなどして、小学校では継続的に情報モラル教育を進め、スマホの適切な使い方を考える機会にしたいと考えています。保護者の皆様と協力しながら、子供たちが上手にスマホなどの情報機器と付き合っていけるよう、見守っていきたいと考えております。

	スマホ	ガラケー
福岡小	22.0%	
小学生	27.0%	28.2%
中学生	51.7%	14.2%
高校生	94.8%	3.2%